

編集後記

大学図書館を取り巻く環境は近年ますます厳しさを増してきた。図書費予算の削減、特に理工系洋雑誌代の高騰による図書費圧迫、アウトソーシングの導入・拡大、地域住民への開放、書庫の狭隘化、閲覧座席数の確保等大学図書館はさまざまな課題に直面している。これらは一大学固有の問題ではなく、大学図書館共通の課題であり、いわゆる有名大学の図書館でさえ例外ではない。「大学全入時代」を迎え、どこの大学も危機感をもっており、大学図書館も聖域ではない。まさに大学図書館は危機的な状況にあるといえる。

この困難な時期に、本学図書館は全国約500の私立大学図書館が加盟する私立大学図書館協会の会長校に就任することになった。任期は2009年4月から2011年3月までの2年間である。全国の私立大学図書館の先頭に立つて山積する課題に取り組んでいかなければならない会長校の責任は重大である。

インターネットの普及などで本学図書館でも入館者数が減少傾向にある。図書館に足を運んでいただくために図書館の利用環境を改善することも大きな課題のひとつである。前号の編集後記でふれた「利用者満足度ナンバーワン」の図書館を目指す「図書館リニューアル計画」により、今年度はまず図書館3階の閲覧室と休憩室を改装する予定である。これにより、閲覧座席数が若干増えることになる。

また、本号においては漢籍や資料保存に関する研修報告を掲載した。デジタル時代に逆行しているように思われるかもしれないが、文化財の保存や修復技術を後世に伝えることも大学図書館の重要な使命のひとつであることをご理解いただきたい。

話は変わるが、1898年創刊の英語・英米文学研究誌『英語青年』が2009年3月号をもって印刷版（紙媒体の雑誌）の発行を中止し、オンライン版に移行した。110年の歴史をもつ雑誌が消えてしまうのは寂しい限りであるが、これも時代の流れであろう。『英語青年』に倣うわけではないが、本『図書館フォーラム』も諸般の事情により本号でもって冊子体での発行を中止し、次号からは図書館ウェブサイトでのみ公開することになった。オンライン版のみになっても誌面の充実を努めていく所存であるので、今後とも引き続きご高覧をお願いしたい。

(赤木)

『図書館フォーラム』を図書館ウェブサイトで公開しております。次の [URL] でアクセスすることができます。

URL http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/about/lib_pub/

図書館フォーラム編集委員
赤木一夫・鵜飼香織・加藤博之

関西大学 図書館フォーラム 第14号 (2009)

平成21年 6月20日印刷
平成21年 6月30日発行

編集・発行 関西大学図書館
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1157
<http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/>

印刷所 (株)遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL 06-6304-9325
